

## 河野地区タウンミーティング（要約）

テーマ：河野地区のまちづくりについて

令和4年6月7日（火曜日）

【市長】 皆さん、こんばんは。今日は平日の夜で、何かとお忙しかったのではないかと思います。このようにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。河野地区タウンミーティングの開催にあたりましては、まちづくり協議会の会長さんをはじめ、役員の皆さんのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。この松山市のタウンミーティングですが、私が市長に就任させていただいてからスタートしています。松山市は旧松山市、旧北条市、旧中島町合わせて41地区に分かれています。私の1期目は、この41地区を二巡りさせていただきました。2期目に入らせていただいて、地区別に加えて、子育て世代や人生の先輩方のシルバー世代、大学生や専門学校生などいろんな世代の方々との世代別タウンミーティングを始めました。また、農業や商店街の方々に集まっていただく職業別タウンミーティングもしています。今回の河野地区タウンミーティングで126回目になりました。これまでタウンミーティングを重ねて、参加された方から「市役所の取り組みが分かってよかった」というお声を頂きましたので、3期目に入ってから「広報タイム」をタウンミーティングの中で2回設けて、皆さんの暮らしに役立つ情報を現場で汗をかいている職員からお伝えしています。四国地方は大きな地震が心配されますので、今日は「家具転倒防止対策の必要性」、また「AEDの使い方」をお知らせします。1回聞いておいていただくと、皆さんの大事な方が倒れた場合にAEDを使うことができます。また、タウンミーティングで頂いたご意見には、できるだけこの場でお答えして帰ります。中には、国や愛媛県と関係をする案件や、財政的によく考えなければいけないものもあります。いい加減な返事をして帰るわけには参りませんので、そういったものはいったん引き取らせていただいて、1カ月をめどに、必ず皆さんに返事をする、「聞きっぱなしにしない、やりっぱなしにしない」というのが、松山市のタウンミーティングの特徴です。今日は、肩肘張っていると疲れてしまいますから、あまり緊張なさらずに、ざっくばらんな有意義な意見交換ができればと思います。どうぞよろしくお願いします。

【男性】 松山市環境委員俳句会の人たちが建てられたと思いますが、河野橋の横にある西ノ下大師堂の高浜虚子先生の銅像が傾き、今にも倒れそうです。88ヶ所の47番であるし、見学に来た人がケガでもしたら大変ですので、早急に修理をお願いします。また、修理代には、高額な費用がいると思いますので、松山市教育委員会の方から全額とは言いませんが、少しでも補助をしてもらえたらありがたいと思い、お願いを申し上げます。そして、高浜虚子先生の看板を作成してほしいです。月に1回、西ノ下の婦人部の人が、掃除などを行っています。以上です。

【まちづくり推進課長】 ご質問ありがとうございます。高縄山のふもとに位置しています河野地区は、河野氏の発祥の地であるとともに、先ほどご紹介いただきましたように、文化財や史跡も多くて自然も歴史も豊かな恵まれた地域であると認識しています。高浜虚子の像や句碑、虚子の松がある西ノ下大師堂は、河野地区の歴史や文化を伝える地域の宝として風早ふるさとめぐり、風早 88 ヶ所めぐりにも掲載されていると伺っています。松山市では、各地区のまちづくり協議会にまちづくり交付金というものを交付しています。この交付金は、地域のニーズに合った使い道ができる、自由度の高い交付金です。昨年度は、河野地区まちづくり協議会には、130 万円のまちづくり交付金を交付し、フリマルシェなどイベント開催や、まちづくり協議会の広報の印刷費などに活用したとお伺いしています。他のまちづくり協議会では、地域の案内マップの印刷などに活用しているところもありますので、まちづくり協議会さんと話し合いになられて、西ノ下の虚子の松の案内だったり、そういったところをまちづくり協議会さんと力を合わせてやることも可能かと思えます。また、まちづくり推進課の事業で、地域の宝を活用するためにまちづくり協議会が主体となって解説板や案内板を設置する場合などに、30 万円、10 分の 10 補助する地域の宝みがきサポート事業があります。同一地区で 3 回までという限定ですが、所有者の方も含めて、地域でお話し合いができれば、活用することが可能だと思います。詳しくは、まちづくり推進課にご相談いただければと思います。

【市長】 もし不明なところがありましたら、今日、私たちは 20 時半になってすぐ帰るわけではありませんので、ご相談いただければと思います。

【男性】 河野地区の高齢者のことについて現状を言いますと、3 月 1 日のオープンデータによると、7,974 名いまして、65 歳以上の高齢者が 2,724 名ということで高齢化率が 34% ぐらいあります。松山市全体では 20 何%なので、河野地区の方が少し高い高齢化率になっています。河野地区の 3 人に 1 人が高齢者で、14 地区ありますけれども、実際に高齢クラブがあるのは 2 地区です。少し前まで 4 地区あったんですけど 2 地区になって、高齢クラブをどうしたらいいのかという時代になっています。私は、高齢者が幸せでない地域は多分、若い人もそこに住みたがらないと思います。そういうことで、高齢者が幸せになる地区にしてもらいたいし、私もそうしたいと思っていますけれど、現状はその逆で、高齢クラブはなくなって、組織化されないようになっています。福祉課の人に聞くと、松山市でも確か 190 クラブあったのが今年は 177 になって、13 クラブ減っているといえます。こういうこと自体に対して、どのように考えてやればいいのかと。なくなっていいじゃないかっていう話もあるかもしれませんが、そうすると高齢者は、組織がなくなるとそれなりにさみしい町になるんじゃないかと思えますので、その辺をお伺いしたいなと思っています。

【保健福祉部副部長】 市内の高齢クラブですけれども、ご指摘の通り、少し減少して

いるところがあります。高齢クラブは、60歳以上のご高齢の方が、教養講座やレクリエーションなどを通じて社会参加を進めているクラブです。市内各地域で活動をされており、ご指摘の通り、河野地区では二つの団体が活動されています。松山市ではその活動に対して、例えば講師への謝礼金や、研修に行くための旅費、活動経費の一部に対して会員数に応じて補助金をお支払いしています。ぜひ高齢クラブに興味を持っていただき、皆さんにご参加いただきたいと思います。それから、各地域にふれあいいいきサロンというものがあります。これは65歳以上の方が集まって体操をするなどして、要介護の状態にならないように介護予防に取り組んでいる団体です。河野地区でも一つの団体が活動していて、このふれあいいいきサロンにも、松山市として活動経費等に支援金をお支払いしています。ふれあいいいきサロンは、コロナの状況もあって活動が制限されていましたが、少しずつ活動が再開されています。このサロンも、もう少し増えないかなあということで、要件を少し緩和してはどうかと、保健福祉部で検討しています。地区の高齢者の皆さんが集まっているいろんな形で社会に参加していただけるようにしていきたいと思っていますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

**【市長】** 世界がコロナに直面している中で、どこの地区もそうだと思うんですけども、なかなか集まりにくい状況がありました。今、比較的コロナが落ち着いた状態で、全く油断をしてはいけませんけれども、コロナの状況が収まっていくにつれて、高齢クラブやサロンの活動も活発化していくと思います。松山市としては、やはりつながりがないより、つながりがあった方がいいので、それをしっかりとコロナの回復の状況を見ながら、皆さんがつながっていただけるように目配りしながら、ご高齢の方への施策を進めていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。

**【男性】** 河野地区では、ほとんどの地区で年に1回、河川清掃をしています。だいたい、市民大清掃に合わせてやっているんですけど、雨が降った場合、1年2年と飛んでしまったときに、河野川と高山川のアシですかね、草刈機も歯が立たない感じになってしまっています。少し前に別府地区などは、重機などを使っていただいたと思うんですけど、県か市か確認はできていないですが、高山川も河野川も手がつけられない状態のところが多いです。各地区で申請して、別府みたいに地区ごとにもしてもらうよりは、できたら一括して河野地区の川を整備していただくことはできないでしょうか。草刈り機で毎年していても、限界がありますので、よろしくお願いいたします。

**【都市整備部副部長】** 貴重なご意見ありがとうございました。先ほどおっしゃられた高山川と河野川は、県の河川になるんですけど、当然、松山市と愛媛県は連携しています。予算等の問題もあるかもしれませんが、早速、県にも伝えた上で、迅速に対応を考えていきたいと思っています。地区の皆さんには、愛リバー制度で高山川や河野川の清掃などをボランティアの方でやっていただいて、この場をお借りして深くお礼申し上げます。そんな中で、どうしても大きな草とか、難しい部分もあろうかと思っています。高山川

に関しては、見られたかもしれないですが、県が下流から整備をしています。上流の方に移っていくと思うんですけど、その辺の具体的な内容を県から情報を入手して、お伝えしたいと思います。

【市長】 どうぞ皆さん気にせず発言なさってください。道でいうと、どこが国道でどこが県道でどこが市道か分かりづらいですよ。国道 196 号とか、国道 11 号、33 号だと分かりやすいですけど、国道 439 号とか、番号の大きい国道もあります。松山市のタウンミーティングは、国道だろうが県道だろうが市道だろうが、皆さん、遠慮なく言っていただいたら、国でしたら国の方に私たちの方から伝えますし、県でしたら県の方に伝えます。例えば、30 キロで走ってくださいとか、信号が赤だから止まってくださいというのは規制になりますから、警察の仕事になります。警察の範囲でも、私たちから話を持っていきますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。

【女性】 北条地区にある集会所についてですけれども、河野公民館の中にも、小さな区ごとの集会所があります。そこは、災害時のときも使われたり、地域のコミュニティの場としても使われたりしています。そこが災害対策として、トイレの改修が必要だったり、高齢者の方のために段差をなくしていく必要性に迫られたりしていて、区で費用をまかなっていくのも結構大変な状況になっているので、松山の分館とほぼ同じような役割を持っている集会所に対しても、市からサポートをいただけたらいいなと思います。また、もうそろそろ建て替えが迫っているところがあります。建て替えするための要綱が、まだできてないと思いますので、ご検討いただけたらありがたいです。

【まちづくり推進課長】 貴重なご意見ありがとうございます。北条地区のコミュニティ集会所は、地域コミュニティの活動拠点として、旧北条市時代に整備されたものです。建設後、修繕費や光熱水費の維持管理については、旧北条市時代に各地区がご負担いただくことで覚書が交わされており、合併後も同様に取って来たところです。ただ、ご指摘もありました通り、建物の老朽化が進んだり、地区が負担する維持管理費が増大してきたりした事情がありましたので、地域からのご要望もいただきまして、市の予算の範囲内で、市が施設の修繕をして、その費用の 2 分の 1 を地区にご負担いただくという制度を、平成 23 年から設けています。確かに集会所は避難所としても使われることもあり、高齢者の方も増えてきている実情もあります。トイレの改修やバリアフリー化にも使えますのでご活用いただけたらと思います。建て替えについては、北条地域には 84 カ所あり、旧松山市の地区と違って、北条時代に非常に積極的にコミュニティ施設の整備をされた経緯がありますので、公民館の分館と比べても数が多い実情があります。そういった中で、地区の集会所が建設から 30 年経っているところが 6 割ほどあり、大規模改修で対応できる場所もありますけれども、ゆくゆくは建て替えの検討も必要になってくるというのは、我々も十分承知しています。ただ、今後の人口減少だったり、市の財政状況だったり、その辺りも鑑みながら、中長期的な視点から地域の方々のご意

見などもお伺いしながら、制度を考えていきたいと思いますので、ここでは即答しかねる部分があります。ご理解をいただけたらと思います。

【市長】 平たくポイントだけおさらいすると、平成 17 年 1 月 1 日に旧松山市と旧北条市と旧中島町が合併をするわけですけれども、それ以前は、旧北条市と各地区で覚書を結んでいて、各地区の集会所は各地区で負担いただくという決まりになっていたんです。私が平成 22 年 11 月に就任させていただいて、北条には集会所がいっぱいありますよ。高齢化してきていますよ。これ全部地区でやるのは事実上無理じゃないですかね。これは考えないといけないですねということで、平成 23 年度に半分負担という形で制度を変更しました。今、副部長からお話しましたように、やはり、旧松山市に比べるとかなり数が多いという部分もあります。人口減少社会にも入っていますし、松山市の財政のことも総合的に考えないといけないので、そういう中でしっかりと検討させていただきたいと思います。

#### 広報タイム① 『家具転倒防止対策の必要性』

【男性】 野志市長におかれましては、市政の発展、新型コロナウイルスの感染予防にご尽力いただいております。この河野地区は、市長さんも幼少の頃にお過ごしになられたところで、十分お分かりになっていると思うんですけれども、私もこちらに参りましてもう 50 年近くになります。近隣には商業施設、病院、福祉施設、スポーツ施設、公園がまあまあそろっていて、非常に暮らしやすい地域だと思っています。平成 17 年 1 月に松山市が北条と中島を編入合併し、中予地区も 13 市町村から 6 市町にまで合併して進めてきましたけれども、今のところ、概ねソフトランディングができて、この合併はほぼ成功したんじゃないかなと安心しています。その中で懸念しているのは、松山市は平成 23 年をピークに、おそらく人口減少が始まっているんじゃないかと思っています。合併当時から比べると、北条はだいたい 2,000 人近く減っています。河野も 300 人近く減っています。この前、社会福祉の総会があつてお尋ねしたら、1 年間で 40 戸ぐらい減っているということでした。人口減少とともに、高齢化率というのが 35%を超えていると思います。このような状況を踏まえると、北条は、若い人にはあまり人気がないのか分かりませんが、高齢者には非常に住みやすいいいところじゃないかと思っています。高齢者に優しいまちづくりとか、高齢者を呼び込む政策をお願いしたいです。河野地区は、風光明媚な高縄山、斎灘（いつきなだ）がありますので、これを財産にするよう施策をしていただきたいのと、もう一つ、小学校のスポーツ少年団が活動に年間 500 円ずつ集めています。できれば、市から補助していただくようお願いしたいなと思っています。

【市長】 この前、東京で全国市長会があつて、この中で少子高齢化を勉強させていただいたんですけれども、実は 30 年前から人口減少は分かっていたことなんですね。残

念ながら打つ手がなかったのかなというのが、今、市長をさせていただいて感じているところです。全国の市長会にはだいたい 815 の市区長がいるんですけども、600 人ぐらいが今回集まりました。スウェーデンとかドイツの取り組みで、国によっては出生率が上がっているところもあるんです。こういったところも参考にしながら、松山市としてできることをしっかりやっていきたいと思っています。ご高齢の方への取り組みでいいますと、河野地区で今、社会実験的にふれあい収集をさせていただいています。ご高齢になると、ゴミ出しが難しくなる方もいますよね。基準があるんですけども、そういう高齢の方のところに、松山市の清掃課の職員が行って、ゴミ出しのお手伝いをする。そして必要に応じて声掛けをする取り組みを河野地区と久米地区と垣生地区でスタートさせて、今、プラス 6 地区の 9 地区で行うようにしていて、将来的には全 41 地区に広げようとしています。そんな取り組みもしていきながら、高齢の方に配慮した取り組みもしていきたいと思っています。スポーツ少年団のことについては、持ち帰らせていただいて、お返事をさせていただきます。

**【男性】** 先ほど、高齢化の話が出てまいりましたが、河野地区も同じような状況でありますけれども、市街化調整区域についてお尋ねします。市では、地区計画運用方針、整備保全の方針、優良田園住宅建設に関する方針、都市機能整備誘導地域などいろんな方針があって十分な理解ができていませんが、残念ながら、この北条バイパス沿いについては、ほとんど開発が進んでいません。平田地区までにはいろんな商業店舗等が建築されていますが、北条バイパス沿いは非常にそれができていないと、その足かせは何だろうと話をよくするんです。市長のご出身の別府地区の農地、この単価が現在 10 アール当たり約 30 万、坪 1,000 円と聞いています。いかに安いかわかるということがお分かりいただけるんじゃないかと思うんです。なぜこんなに安いかわかると、農地以外に使い道がない状況です。先ほど、高齢化率が 35% という話もありましたけれども、農地保全をなさないと十分に分かるんですけども、今、農業の担い手は 70 代以上です。その方々に言われても、実質非常に難しいことと、それを解決するためにはやっぱり若い世代の導入が必要じゃないかと。その一つの方策として、優良宅地の提供が、一つの条件にあたらぬかなと個人的には考えています。市街化調整区域について検討する時期に入ったんじゃないかと思しますので、非常に難しい問題ですがご検討ください。

**【都市整備部副部長】** ご指摘の通り、昭和 43 年に都市計画法の改正により導入された制度で、市街化区域や市街化調整区域は、その頃に定められた制度で、その当時はもう人口減少とかそういうようなことは一定考えていなかったのではないかと思います。ただ松山市は、そういった中でも、半世紀近くにわたって有効な土地利用の誘導を行いながらコンパクトなまちづくりを進めてきた経緯があります。時代も流れて、人口が増加する時代にはそういった住宅用地を供給するために市街化調整区域を市街化区域にする都市計画の変更が確かにも行われることもありましたが、今後、急激に人口減少

や高齢化が進むと、空き家が増加するとか、身近なスーパーがなくなる、公共交通がなくなるなどさまざまな課題が出てくることが予想されます。そういった中で、現状で市街化区域を拡大するのは非常に難しいのではないかと私は思っています。優良宅地の話も出ていますが、例えば、北条地区の老朽化した市営住宅と県営住宅を共同で取り壊して、一つの大きな市営住宅を建築する集約的なことを北条地区でも試みているので、頂いた貴重な情報は帰りますし、しっかり共有したいと思います。今後のまちづくりにしっかり生かしていきたいと思っています。

**【市長】** ご自身で難しい問題だろうけどと、前置きしていただきながら、発言いただきました。副部長が申し上げたように、旧北条市には県営団地と市営団地があって、両方とも古くなってきていたんです。県市連携して新しい団地をつくりましょうということで、本当にきれいなマンションになります。今、そういうような形で新たに取り組んでいるところです。私もどちらかというと郊外型の人間ですけれども、やっぱり郊外が好きだなんていう方もいらっしゃるんです。例えば、私は高校のときは粟井駅から通っていましたが、粟井駅の周辺は、昔はそうでもなかったですけれども、新しい戸建てがばっと立ちましたよね。それは粟井駅から JR に乗って松山へ通うのが、以前に比べて早くなった。小さいお子さんと一戸建てに住もうという方が結構増えました。ですので、やはり皆さん通勤通学のことも考えて、どこに家を建てていくのかを考えられているのかなと感じています。そういう中で、総合的に、人口減少やどういう住まいが一番いいのかというのとも考えながら、さまざまな計画を立てていきたいと思っています。本当に悩ましいです。郊外の良さは感じているところですが、これをどうやっていくかというのは、なかなか難しい、ちょっと悩みながら進めているところです。

**【女性】** 公民館のトイレが改修されて、とても使い勝手がよくなり、ありがとうございました。もう一つ、公民館からお願いがあります。実は、公民館入口にはスロープがあるのに、おいでになる方が、杖をついた方も、高齢者用の車を押す方も階段を上がってきます。なんでそうなるのかなと思ったら、スロープのところに、文部大臣賞とかいう大きな石を置いていますので、スロープが分かりにくいのかなと思います。皆さんがお帰りになるときには、どうぞスロープを通過してくださいとお伝えするんですけど、何か解決策はないかなと思うんです。広い駐車場がありますので、スロープの横の駐車スペースに、車椅子用のマークをつけていただくと、皆さん分かりやすくなるのかなと思ったりしますので、よろしくをお願いします。

**【生涯学習政策課長】** 日頃から公民館活動にご協力いただき、ありがとうございます。入口のスロープのところを会議後に見させていただいて、学習施設課というところもありますので、また確認して、検討させていただきます。

広報タイム② 『AEDの使い方』

【男性】 高齢クラブが市の委託でしていると言って、土手の草刈りや掃除をしてくれていますが、その方も高齢で危ないのでやめてもらいたいと思うんですが、市としては、本人がやる間はやるということなんでしょうか。それともう一つ、サロンを団地の集会所でしていますが、中須賀団地のサロンは、担当者が言うには、市から外れていると、やめました。集会所のエアコンが壊れて、その方から暑いので夏はサロンができないということだったので、エアコンを付けてくれと言いましたが、予算がないので、今年は無理だと言っています。サロンが市に入っていないと、そういう補助はないのでしょうか。

【市長】 個々のケースになりますが、分かりますか。分からなかったら持ち帰らせていただいて、後日、お返事をさせていただきます。ご高齢の方が草刈りをしてくださっている件。また中須賀のサロンの件。持ち帰らせていただいて、後日、必ずお返事させていただきます。

【男性】 河野地区だけの話じゃなくなってしまうんですけれども、小学校のナイター施設などを他の地区の団体さんも使われているかと思いますが、スポーツ少年団は減免対象外ということでお金を支払っています。そこを減免対象にするのは、他の団体さんもあるので、スポーツ少年団だけというのはすごく難しいことかと思うんですけれども、何か少しでも割引といいますか、ナイター使用料とかの補助等を考えていただけたらと思います。よろしくをお願いします。

【生涯学習政策課長】 少年団の方が、学校施設の夜間開放で使われていることだと思います。そういった声は以前からもありまして、何かいい方策はないか、教育委員会でも検討しています。この場でお答えすることはなかなか難しいですけれども、継続して検討させていただきたいと考えています。

【女性】 河野保育園の前から横谷の方に上がっていく道ですけれど、その道の間で電灯がほとんどないです。夜に走ったり歩いたりしている人もいたり、冬になってマラソン大会の練習が始まると小・中学生の子どもたちが走ったりしています。電灯をつけていただくのは、どのぐらいの人がいるとかいろんな決まりで付けられていると思うんですけれども、何年前に河野保育園から善応寺に上がるところまでで、一つ電灯を付けていただいたと思うんですけれど、今それが多分切れていると思います。どこの地区に言ったらいいのか分からないのと、そこに1個だけあって、その前後がなくて暗いので、できればつけてほしいと思います。

【市長】 切れているところは、今日、地図を持ってきていますので、お示しいただいたら早速対応させていただきます。

【市民部長】 ご質問ありがとうございます。ただいま市長が申しあげました通り、後



ほど場所を確認させていただきます。新しく防犯灯を設置する場合には、すでにある防犯灯との距離など、一定の条件がありますので、そのあたりを確認させていただきたいと思います。町内会の方で設置の申し込みと維持管理などをしていただいていますので、後ほど確認させてください。

【男性】 河野地区はご存知のように河野氏関連の史跡がたくさんありまして、市でも説明板とか設置いただいているんですが、1カ所高縄山から1キロぐらい下がったところに甲森塚というところがあって、その表示が分かりにくく、進入路も分かりにくいんです。昨年、尾道から20人ぐらいの団体が首塚を見に行きましたが、進入路が分かりにくかったりする場合があります。そこを整備していただけたらなということと、前から気になっていたんですけども、河野通有の妻の墓碑が善応寺地区の萬松寺谷（ぼんしょうじだに）にあるんですけども、それが山の中にあるんで、私たちの年代で知っているのは数少ないんです。私たちがいなくなると、多分分からなくなってしまうので、その表示板が全くないのでつくっていただきたいです。

【まちづくり推進課長】 最初の方の質問でもお答えさせていただきましたけれども、まちづくり協議会へのまちづくり交付金は比較的自由に使えるので、地域資源の案内に使われているところもあります。まちづくり協議会で何をするかをまちでしっかり話し合っていていただくことにはなりますが、そのあたりご検討いただいたらと思います。加えて、地域資源の表示案内の話としては、地域の宝みがきサポート事業補助金というのがあります。これは1地区3回までです。かつて雄甲山・雌甲山の由来を記した解説版が平成28年に作られているので、あと2回になります。こういった形でされるか、地域で相談されてご検討いただき、こういった方法があるかは担当職員がしっかり一緒になって考えたいと思いますので、ご相談いただいたらと思います。

【男性】 最近、横断歩道の事故が多くなっています。この1週間ほどでテレビで、死亡事故や渋滞に横断歩道が映るわけです。私が言いたいのは、いつも白線がきれいに引けているかな、横断歩道ができているかなと思うんですけども、松山市とか県とか国とかがあって非常に難しいんですけども、パトロールをして、そういう消えているところとかを調べるような方法はないんだろうかと思っています。

【市長】 先ほど申し上げました通り、遠慮なく言っていただいたらと思います。国道であったり県道であったり市道であったり、市の方で引き受けて、国道なら国、県道なら県、また警察のことだったら県警の方に言いますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。実は、松山市道だけでも、松山市内に1,900キロあるんです。道路パトロールカーで市内を巡っていて、穴が空いていたら早急に埋めたりしています。携帯電話でLINEに登録している方はいらっしゃいますか。携帯にカメラがついていますよね。その写真を撮っていただいて市役所にLINEで送ってもらったら、即座に対応するこ

とができますので、こういう仕組みも新たに導入しています。また、郵便局員さんは細かく道を知っていらっしゃるんですよね。郵便局さんとも協定を結んで、郵便局さんからもお知らせいただくようなことをしています。

【市長】 皆さん、河野小学校の卒業生の方もいらっしゃるかと思いますが、河野小学校の体育館の改修が、いよいよ今年になりました。改修すると、新品みたいになります。屋根の防水性の強化、外壁の耐久性強化、照明器具の LED 化、床全面の張替えなどをして、河野小学校の体育館も新しくなりますので、楽しみに待っていただけたらと思います。懐かしい話ですけど、私は高校生のとき、ずっと栗井駅から通っていました。会社に入って、結婚するまでこちらで住んでいましたけれども、よく「農協河野支所よりお知らせします」とか、支所からの放送がありました。今、二重サッシの家が増えていて、無線がなかなか聞こえないという方もいらっしゃいますが、皆さんのお家にお配りしています広報まつやまの 1 面の下に、「災害時などの防災行政無線放送は、電話で確認できます。松山・北条は 986-7755」と掲載していますので、もし聞こえない場合は、ここに電話をかけてもらったら、同じものが聞こえるようになっています。所定の時間になりましたけれども、皆さんからずっとご意見をいただきまして、誠にありがとうございました。本当はちょっと手を挙げたかったんだけど、タイミングを逸して挙げられなかった方もいらっしゃると思います。松山市では「市長へのわがまちメール制度」といって、メールで直接皆さんの声をいただく制度も持っていますので、遠慮なく声を寄せていただけたらと思います。今日も皆さんからいろいろな切実な声をいただきました。この少子高齢化の中でどうのように故郷松山を守っていくかを、改めて感じたところです。市役所といいますけど、市民の皆さんの役に立つところで市役所、でなければいけないと思っています。職員の皆さんには現地現場を大切にしてください、市民目線を大切にしてくださいと申し上げていて、職員も頑張って現地に足を運んでくれています。これからも皆さんの声を聞いていくのが原点の原点、基礎の基礎だと思いますので、引き続き、私たちに遠慮なく言っていただけたらと思います。今日は長時間にわたり、ご清聴、誠にありがとうございました。また、これからもよろしくお願いいたします。

—了—